

# ぼたもち

厳しい  
農作業の  
合間をぬって  
ひと休みする  
みんなの  
憩いの時、コト  
五穀豊穰を祈り  
コトの神様に  
礼をつくす

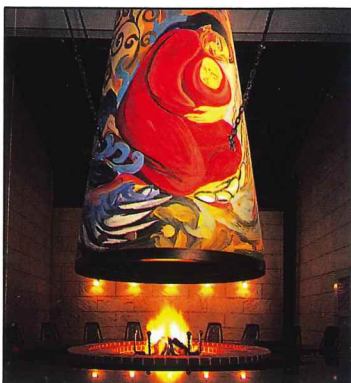


但馬地方には「正月三日、盆二日、節句一日、コト半日」ということわざがあります。つまり、正月には三日、盆には二日、節句には一日、コトには半日休むということだとか。正月が過ぎ、雨とか雪のため農作業が不可能になった日に、にわかに隣保が寄り集まって、餅をつき会食をする行事を「コト」と言い、

その時、特別につくられるハシのことを「コトノハシ」と呼んでいます。「コトハジメ」などとも言われていました。

この行事は全国的なもので、そうとう古くからの民俗行事と知られています。但馬でも各地で行われていましたが、今はすっかり姿を消し、この行事が残っているところは、ずいぶん少なくなっています。養父・

大屋・生野・朝来町などでは今も伝統を受け継ぎ、守られている地区があります。だんだん形を変えていった地区もあり、親睦を深めると言うことで、旅行へ行ったり、食事を開いたりとい



## お二人の至福のスタートは 新しい波“ヌーベルヴァーグ”に乗って...

従来の挙式、祝宴のスタイルだけでなく、お二人らしいこだわりや、出石という歴史と神話の町をステージにした思い出深いウェディング...  
「特別な一日だからこそ、できるかぎりのプランとサービスでお手伝いしたい」  
出石グランドホテルは幸せのスタートに新しい感動を咲かせたいのです。

●出石ヌーベルヴァーグウェディング 50名様、1,250,000円  
お一人様追加ごとに15,000円 税金、サービス料含まれます

IZUSHI GRAND HOTEL



●ご予約・お問い合わせは

**出石グランドホテル**  
〒668-0263 兵庫県出石郡出石町福住450番地  
Phone 0796-53-1111 (代)





大屋町で見つけたコトノハシ。木にぶら下げられていた。



生野町で見かけたコトノハシは電柱にぶら下がっていた。形もいろいろあるようだ。



大屋町須西区でコトノハシをつくっている風景。隣保のみんなが宿の家に集まり、男たちがつく。生野町六区では、まだまだ古いしきたりを守ってやっているという。



つきたての餅に、きなこをまぶして食べるところもある。

うところもあるようですが、だいたいは、節分が終わった頃に行っているそうです。この日はコトの神さんをおまつりし、餅などを供え、みんなで食べるのです。コトの神さんは田の神で一本足だと言いつたにいられていす。ですから、「コトノハシ」にぶら下げるぞうりは片方だけなのです。

餅はきなこをまぶしたり、かけて食べるきなこ餅派と小豆あんをまぶし、おはぎのようなあんこ餅派に分

かれていようす。

隣保のみんなが宿の家に集まって、ワイワイガヤガヤいながらつくる楽しいひとときです。養父町や朝来町は手のひらよりも大きいあんこ餅をつくりすし、大屋町門野区では丸めた餅にきなこをまぶすそうです。同じきなこ餅でも生野町円山地区では餅を平たく伸ばし切つてから、きなこをかけていただくそうです。それぞれの地域でやり方が違って残っているのもおもしろいですね。

女性たちは餅をつくり、男性たちは「コトノハシ」をつくりす。これも地域によって、さまざまな形があるようですが、ハシをワラで編み込み、片足ぞうりやキネとともに木にぶらさげす。ぶらさげた「コトノハシ」が落下する瞬間を見た人は、幸運に恵まれるという伝承があらす。落ちるところを見た人はいるのでしょうか？

五穀豊穡、家内安全を願ひ、今年も何事もなく無事に一年をおくることができますようにという昔からの人々の願ひが、このような風習となつたのでしうね。

協力：和田山町郷土資料館

養父町教育委員会

大屋町・生野町

法面

心を込めて  
庭づくり

今、世界で環境問題について叫ばれる中、緑を扱う専門家として私たちの仕事の重要性、責任の重さを痛感しながら、これからも新しい景観を創造してまいります。

造園・法面・土木・設計施工管理

株式会社 西村風晃園

本社：兵庫県豊岡市山王町11-5 TEL.0796-23-5616  
本部：兵庫県豊岡市九日市上町846-1 TEL.0796-23-5611

## “グリーンブレス” 緑と文化を咲かせよう

園公・庭

八鹿町(舞狂)八鹿土木事務所